施策評価シート(平成26年度実績評価)

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実		生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	都市政策課	施策主管 課長名	中村 健司
	施策No.	3	施策名	住宅の安定確保		安心して生活できる住宅を確 保しています	関係課名			
	現状と課題		•市街地	は十分なインフラを	備えている	はの20%あり、市営住宅の老朽ますが、人口が減少し、効率的は、大規模な地震の際に損壊⊄	な土地利	用が図られてい	かない地域	もあります。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

- (1)市営住宅の整備・維持管理
 - ○修繕による長寿命化
 - ·天下田住宅D棟24戸改修工事、F棟改修実施設計
- (2)街なか居住の推進
- ○高齢化社会に対応した居住への支援
- ・高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃補助
- (3)安全な建築物の整備促進
- ○耐震基準に満たない可能性のある住宅の解消
 - ・旧耐震基準の木造住宅の耐震診断費用を補助

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたの か)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市営住宅大規模改修	市営住宅の長寿命化の進捗状況を示す指標	平成22~35年度の14 年間に大規模改修を 計画している252戸を 母数とし、改修済累計 戸数との割合で進捗度 合いを測定する。	%	目標値				57.1	66.7	73.0
計画に対する進捗率		進捗率=改修済累計 戸数/改修計画戸数 252戸		実績値	19.0	28.6	47.6	57.1		
	震住宅の割合を示す指標 昭和56年以前に建築された旧耐震住宅の改修	を宅の耐震化率=耐 家化住宅数/市内全 主宅数約31,000件(平 4年度末)	%	目標値				65.5	66.6	67.7
住宅の順展化学	を進め、耐震化率の向 上を図る必要がある。		%	実績値	59.6	60.0	64.4	65.7		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	■市営住宅大規模改修計画に対する進捗率…【達成度a】市営住宅は、改修による長寿命化を計画的に進めている。■住宅の耐震化率…【達成度a】ここ数年、市耐震改修補助の例はないものの、新築や古い住宅の改築により住宅の耐震化率は確実に向上している。

4 施策を構成する事務事業一覧

4 <i>M</i>	<u>医策を構成する事務事業一覧</u>						
番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度				
号	事業内容(実績)		直結度	成果			
	市営住宅環境改善事業	都市政策課		_			
1	天下田住宅D棟改修工事(24戸)		A	Α			
	高齢者居住支援事業	都市政策課					
2	高齢者向け優良賃貸住宅の入居者へ家賃補助		Α	Α			
	木造住宅耐震化推進事業	都市政策課		,			
3	木造住宅の耐震補強の推進のため、耐震診断費用(6件)に対して補助		Α	С			

5 施第	策を構	成す・	る事務	事業の)検証
------	-----	-----	-----	-----	-----

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・木造住宅耐震化推進事業のうち耐震補強助成は、平成24年度以降、例がない。

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・今後さらに国交付金が削減され、市営住宅の改修が見込みどおりに進捗しない懸念がある。
- ・人口減少が進む今後は住宅ストックの余剰がさらに進み、空き家問題がより深刻化するおそれがある。
- ・木造住宅の耐震診断を実施しても補強工事に至る例が少ない。

(今後の方向性)

- ・市営住宅は、計画と内容を見直しながら確実に改修を進める。
- ・立地適正化計画と連動した、市街地の空き家活用促進策を検討する。
- ・倒壊を免れる程度の耐震補強工事等に対する補助事業の創設を検討する。